

主張

2012年
に民主・自民・
公明の3党合
意によって「社
会保障制度改

革推進法」が成立した。
それを基に安倍政権は、
「社会保障プログラム法」
「医療・介護総合

法」「医療保険制
度改革関連法」を
十分な討議もなく
次々と数の力で成
立させ、社会保障
改悪の道を突き進
んでいる。今月から始

まった第193回通常国
会でも医療改悪に向けて
上程される予定の法案
は、入院時居住費の対象
拡大と負担額の引き上
げ、70歳以上の患者負担
上限の引き上げ、介護保

険の利用者負担増や保
険給付外しなど枚挙にい
とまがない。

そのような社会保障改
悪に対して、会員の皆さ
んに協力いただいた会員
署名や各種患者署名、国
會議員要請、マスコミ懇

れらの計画が消えたわけ
ではない。さらに201
8年には医療・介護保険
の同時改定があることが

そのような社会保障改
悪に對して、会員の皆さ
んに協力いただいた会員
署名や各種患者署名、国
會議員要請、マスコミ懇
員や患者・国民の皆さん

ストップ！医療・介護の負担増 新しい署名にご協力を

談など、全国の協会・医
会や保団連の運動もあ
り、「かかりつけ医」以

外の受診時定額負担、市
販品類似薬品の保険外
し、介護保険利用料の2
割負担などは法案提出や
実施が見送られたが、こ

の協力を得ながら広げて
いくことが大変重要に
なってくる。

三重協会では、保団連
とともに今年2月から
「医療・介護の負担増を
進めないことを求める緊
急署名」の取り組みを行

う。昨年行った「ストッ
プ！患者負担増」署名で
は、三重協会では今まで
に一番多い4615筆

（全国では約18万筆）と
いう筆数を会員の皆さん
から頂いた。結果として
は国会会期終了で振り

OECD加盟國中、健
康達成度や健康寿命は
トップクラスだが、患者
負担が突出している日本。

TPP参加が頓挫し、米
国は医療を市場として捉
え、日本との二国間FT
Aで混合診療の解禁や外
資系民間保険会

出しとなったが、なかな
か知らされることのない
医療制度改悪の内容を

会員の皆さんや患者さん
に知っていただくことは
大変重要なことであり、
今年の運動の礎となるも
のである。

含めた日本の医療制度の
充実を目指し、子や孫の
将来にわたって安心して

誰もが医療の恩恵を受け
られるようにぜひとも会
員の皆さんの署名ご協力
を再びお願いしたい。

社の参人をねらっ
たさらなる患者負
担増などを迫って
くる可能性は大き
い。世界に誇る国
民皆保険制度を